

## 令和7年度第2回東久留米市地域医療協議会会議録

日 時 令和8年2月2日（月）午後1時30分から午後2時30分

会 場 東久留米市役所4階庁議室

出席者等 （敬称略・順不同）

委 員 熊野 雄一 小玉 剛 檜垣 学 福山 中 神谷 貴充 大槻 健人  
石橋 幸滋 稲垣 智一 荒島 久人 中谷 義昭

事務局 （健康課）

健康課長 予防係長 保健サービス係長 健康課主査 特定健診係長

特定健診係主任

（こども家庭センター）

こども家庭センター長 母子支援係長

### 第1 開会

### 第2 議題

（会長）

それでは、議題（1）「令和8年度保健衛生事業計画について」事務局よりお願いします。

（事務局）

令和8年度保健衛生事業計画について、保健衛生事業報告に基づき各担当から報告します。

※報告内容は令和8年度保健衛生事業計画のとおり

（会長）

それでは、令和8年度保健衛生事業計画について、委員の皆様からのご質問等をお受けします。

（委員）

#### 【4. 感染症予防事業について】

インフルエンザB型が流行っており、新型コロナウイルス感染症の割合は減少している傾向があります。しかし、所々で新型コロナウイルスの感染が見受けられる状況もあることから、市で新型コロナウイルス感染症対策について何か検討していることはありますか。

（事務局）

市の新型インフルエンザ等対策行動計画の改訂は予定していますが、新型コロナウイルス感染症対策について予定している事業は今のところありません。

(委員)

**【6. 災害対策用備蓄品等の整備事業について】**

災害医療コーディネーター研修に参加し、医師会としては災害医療の行動マニュアルを書き換えを行う必要があるかと認識しております。その中の要配慮者の対策について行政分野では、健康課、介護福祉課、防災防犯課が参加し、行政以外では医師会、歯科医師会、薬剤師会、柔道整復師会の4師会が相互に協力し合いマニュアルの策定に取り組む必要があるかと思いますが、市から何か要望やご意見はありますでしょうか。

(事務局)

今年度から要配慮者の提供部会が始まった経緯もあり、福祉所管部署との連携・情報共有が必要となる状況となりました。今後に関しては福祉所管部署と関連のある介護等の事業者とも情報共有を行い、枠組みを広げながら災害医療の行動マニュアルについては明文化を図っていきたいと考えています。

(委員)

**【1. 予防接種事業について】**

BCGの予防接種に関して小児結核が減少傾向ではありますが、外国人家庭では外国から両親が病原体を持ち込んでしまい子供が結核に感染してしまうことが散見されています。稀に、結核に感染しているお子さんへBCGを打ってしまいコッホ現象が発症することがあります。BCGの集団接種を行うにあたり、接種者へのフォローアップ体制はどのようになっていますか。

(事務局)

BCGの集団接種では、会場にコッホ現象に係る掲示物を設置しており、また、従来から複十字病院に委託をしていることから、接種後に何か不安なことがあれば複十字病院の指定連絡先にて相談できるような体制を整えています。

(委員)

**【10. 検診事業について】**

胃がん検診について、バリウムでのX線検査を行っているかと思いますが、がん検診の内視鏡検査の実施に向けた検討はされていますでしょうか。

(事務局)

過去、医師会と調整を行った経緯がありますが、内視鏡検査を実施できる医療機関が限られることや受け入れ枠等に課題があり、導入が出来ていない状況にあります。

す。今後も実施に向けた検討を行っていきます。

(委員)

**【18. 自殺対策事業について】**

年代別の自殺者の割合を分析したところ、小児の自殺が増加傾向であることが分かりました。市内の中学生までの年齢で、自殺をした人の人数が分かれば何名か教えてほしいです。また、小児自殺が増加傾向である背景について、市で何か取り組みを予定していることはありますか。

(事務局)

令和6年度の20歳未満の自殺者数はいませんでした。過去5年以内では10代後半の方において、自殺があったことは把握しております。市での取り組みとして、令和7年度より市ホームページでオーバードーズに関し、厚生労働省や東京都の情報がみれるように変更しております。また、わくわく健康プラザ内のみになりますが、3.9月に行われる東京都との自殺対策キャンペーン時においてパネル展示やパンフレットを設置し啓発に努めております。

(委員)

**【地域医療構想について】**

地域医療構想を検討していく際の窓口は健康課となるのでしょうか。他にも、地域医療構想に含まれている在宅医療に関する内容では、小児や障害を持つ方の分野もあるかと思えます。こちらもどこの部署が担当になるのか教えてほしいです。

(事務局)

現時点では、地域医療構想調整会議に健康課のみ参加しておりますが、他分野も含まれる内容となってきましたので、今後の担当部署については、検討させていただきます。

(副会長)

**【8. 健康診査事業について】**

東京都の糖尿病腎性重症化予防プログラムが令和7年12月に改訂がされ内容が変更されていますが、市として何か取り組んでいることはありますかでしょうか。

(事務局)

糖尿病対策に関してはデータヘルス計画に基づき、保険年金課と健康課で実施しています。健康課では、令和6年度より、糖尿病リスクの高い方に対して、成人歯科検診の受診勧奨を行っています。今後も対象者の拡大などを検討しながら、事業を継続してまいります。

(会長)

**【1. 予防接種事業について】**

子宮頸がんワクチンに関する受診率を上げるための取組や受診勧奨の予定はありますか。

(事務局)

今までは、小学6年生のタイミングで未接種の方への勧奨を行っていましたが、高校生で接種する方が多いという点に着目し、今年度より高校1年生の夏ごろに勧奨するよう変更しました。接種率を上げる取り組みは今後も検討してまいります。

(副会長)

**【1. 予防接種事業について】**

接種期間が延びると接種率は上がる傾向にあるのでしょうか。

(事務局)

接種期間が延長となっても、接種を希望する方は既に期間内に済ませており、それほど接種率に影響もない場合もありますが、接種期間が延長になると、それに伴う周知を行いますので、例えば昨年のHPV ワクチンのキャッチアップ接種がそうでしたが、駆け込み需要のようなものが発生し接種率に影響が出る場合もあります。

(会長)

**【16. 産後ケア事業について】**

産後ケア施設の申込み状況に関してを教えてください。

(事務局)

市内ではアルテミスウイメンズホスピタルの利用が多い状況となります。ペルフェュ滝山マタニティクリニックでは、産後ケア施設を利用できる月齢を生後2カ月から4カ月へ引き上げたことにより、利用者が増加傾向にあります。予約がとれず月齢が過ぎる方の産後ケア施設の利用を可能とするためにも、月齢要件の拡張を図る等の検討を行ってまいりたいと思います。

(会長)

**【16. 産後ケア事業について】**

産後ケア施設を利用したい市民の需要が多いとの認識で良いでしょうか。

(事務局)

近隣市と比較すると（産後ケア施設利用のための申請者数）÷（妊娠届出数）の割合での値はかなり高い状況です。また産後ケア施設利用のための申請者数と実際に産後ケア施設を利用した方の割合を見ても高い状況となるため、需要は高いものと認識しております。

(会長)

令和8年度保健衛生事業計画について、以上となります。

(会長)

それでは、議題2の(2)「その他」に移ります。皆様、なにかご質問等はございますでしょうか。

特にないようですので、これをもって、令和7年度第2回東久留米市地域医療協議会を閉会とさせていただきます。本日は、お忙しいところご出席いただき、ありがとうございました。

以 上